

# 要人招聘 アラブ石油輸出国機構(OAPEC) アル・ナキ事務局長

JCCPは平成25年6月1日から8日までの約1週間、アラブ石油輸出国機構(OAPEC)のアッバスアル・ナキ事務局長(H.E. Mr. Abbas Al-Naqi, Secretary General, OAPEC)を日本に招聘しました。

日本滞在中、アル・ナキ事務局長は精力的に日本の石油関連諸機関・企業に講演・訪問をされ、また、経済産業省資源エネルギー庁の訪問では、高原長官と意見交換をする機会を持つことができました。



左より：経産省・資源エネルギー庁 高原長官、  
OAPEC アル・ナキ事務局長、JCCP 佐瀬専務理事、  
JCCP 吉田常務理事

## 1. 来日の経緯と意義

OAPECとの関係は、平成21年5月に、OAPEC事務局からJCCPに対して協力の可能性を打診されたのが始まりです。OAPEC事務局との間で協議を重ね、平成22年12月10日にチュニジアで、大畠経済産業大臣、アムルムーサアラブ連盟事務総長(Mr. Amre Moussa, Secretary General, the League of Arab States)立会いのもと、OAPECのアル・ナキ事務局長と吉田常務理事との間で協力関係の意向を確認する文書(LOI)に署名し、その後、平成23年3月の共同事業包括契約(MOU)を締結しました。

それに基づき、平成23年及び24年にOAPEC加盟国及び日本の学識経験者による技術セミナーをエジプト・カイロにて共催しました。また、石油精製備蓄における日本の規格のアラビア語への翻訳などの協力を行ってきました。

OAPEC事務局は構成各国の閣僚(石油大臣)に直結した組織であり、同事務局と緊密な関係を持ち、協力関係の構築を図ることで、構成国の石油関係者との新たなパイプ作りにも大いに役立つことが期待されます。

この観点から、産油国の国際組織であるOAPECのトップを日本に招聘することにより、日本及び日本の石油産業界のしぐみをより深く理解して頂くことは、産油国政府機関との友好関係の強化を図り、我が国の石油の安定供給に資するというセンターの設立趣旨に沿ったものと言えます。OAPECにとりましても、日本は主要石油消費国であり、日本の石油ダウンストリームの優れた技術を介してより深い関係を構築することは、メンバー国の技術向上に寄与することが大いに期待される所です。

## 2. 内容

6月3日(月)、アル・ナキ事務局長がJCCPを来訪されました。佐瀬専務理事・吉田常務理事と石油についての近況や取り巻く環境等の情報を交換しました。JCCP全体の活動や研修事業の説明を受けた後研修施設を見学されました。

翌日はJX日鉱日石開発(株) / JX日鉱日石開発テクニカルサービス(株)を訪問し、本社役員と面談され、JXグループの原油開発の経営戦略等について理解を深められました。

同日、JCCP事務所にて、「石油・ガスの国際市場におけるOAPECメンバー諸国の役割とエネルギー分野における日本との関係」について、アル・ナキ事務局長による講演が行われました。経産省・JCCP参加企業・JETRO・石油学会等々、約60名の参加を得ました。また講演後、活発な質疑応答があり、関係者が理解と交流を深めるのに良い機会となりました。講演趣旨は、「OAPECの役割は加盟国間の協力の促進であり、なかんずく加盟国間のエネルギーの効率の利用とジョイントベンチャーの推進である。現在、OAPECのアクティブな加盟国は10か国である。OAPEC加盟国の原油生産量は全世界の30%で、埋蔵量は55%、天然ガスは全世界の生産量の16%、原油の輸出量は全世界の40%(すべて2011年の数字)である。日本のエネルギーの石油依存率は70年代の80%から42%に低下している。その分日本が天然ガスの消費を増加させていることは承知している。今後も石油天然ガスを通じてOAPECは日本、JCCPとの協力関係を続けたい。追加生産能力を高めるために大規模な投資が必要であり、日本に期待している」等々でした。

最終日には、経済産業省資源エネルギー庁を訪問し、高原一郎長官と面談されました。アル・ナキ事務局長が前職にクウェート石油省の要職に就いていらしたことから、高原長官より、東日本大震災へのクウェートからの支援(原油の無償提供)に対する御礼がありました。また、日本はエネルギー政策が重要課題であり、OAPEC諸国との関係維持・強化に期待が増している旨、発言がありました。

アル・ナキ事務局長からは、アラブ石油輸出国機構（OAPEC）とJCCPとの良好な関係を説明され、今後とも、日本およびJCCPと良い関係を維持・強化して行きたい旨、発言がありました。同日、在日クウェート大使館において、アブドゥルラーマン アル・オテイビ大使（H.E.Mr.Abdul-Rahman Al-Otaibi, Ambassador）と面談され、今回の来日経緯と日本訪問先での面談内容を大使に報告されました。



アル・ナキ事務局長の講演

### 3. 所感

今回のご訪問で、JCCPを含めて日本の石油関連機関・企業と交流頂いたことは、大変意義深く、OAPECと相互理解が深まり、より緊密な協力関係を構築する大きな一歩になったと信じます。アル・ナキ事務局長は、満面の笑顔で離日されましたことを申し添えます。

（技術協力部 永沼 宏直）



OAPEC アル・ナキ事務局長（中央）

\* OAPEC（Organization of Arab Petroleum Exporting Countries）  
本部はクウェートに置かれています。

